

日動労千葉

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号 (動力車会館)

電話 (鉄電) 千葉 2935・2939 番
(公) 043 (222) 7207 番

97.1.20 No.4532

1・17 被災支援連集会開催

安保・沖縄―国鉄、そして被災地労働者と 連帯し、新しい潮流運動のさらなる拡大を

阪神大震災からちょうど二年を迎えた一月十七日、一八時から、東京・飯田橋の中央労政会館において、一・一七被災支援連集会が開催され、首都圏を中心に一三〇名が集まり、被災者を切捨てて大資本優先の「復興」を続ける神戸市や橋本政権に対する怒りを新たにするとともに、安保・沖縄―国鉄闘争と被災地労働者との闘いを結合し、被災支援運動の拡大へ九七年を闘いぬくことが確認された。

【阪神被災地での失業率は五〇％】

集会先立ち、被災から二ヶ月後に結成された関西合同労組の活動を中心にした、被災地労働者の闘う姿を映し出したビデオが上映された後、呼び掛け人の中島誠さん(文芸評論家)、針生一郎さん(美術評論家)、宮島尚史さん(学習院大学教授)、渡辺好庸さん(社会科学研究所)からそれぞれあいさつが行なわれた。とくに中島さんから「安保・沖縄―国鉄、被災地の闘いの全国的共闘を維持し、持続し、発展させるために頑張ろう」と訴えられた。

神戸被災地からは、雇用と生活要求者組合の宮武事務長、大西さん、関西合同労組・速水委員長から報告が行なわれた。宮武さんからは、昨年一二月に出

された「仕事と生活の実態調査報告書」をもとに報告が行なわれ、被災地の約五割が失業状態で、世帯収入についても被災前の半分まで落ち込んでいること。雇用形態も被災前と比べて不安定雇用の比率が増加し、その結果一日八時間の標準的労働時間で働く労働者の比率も四一％から二八％へと激減したこと。昨年末にかけて「息切れ倒産」が相次いでいること。しかし、その一方で、一七兆円といわれる「復興予算」のうち、実に十一兆円がポートアイランド二期

工事を中心とした巨大プロジェクトに投入され、他方、被災した労働者のために使われる予算はたった六一二億円で、予算のわずか〇・六五％にすぎないことなどが報告された。「金のない労働者は死ぬ」といつていることに等しい神戸市や橋本政権への怒りをかきたてるとともに、労働者を食わせていけなくなつたこんな資本主義など、もはやいらぬという被災地の思いが伝わる集会となつた。

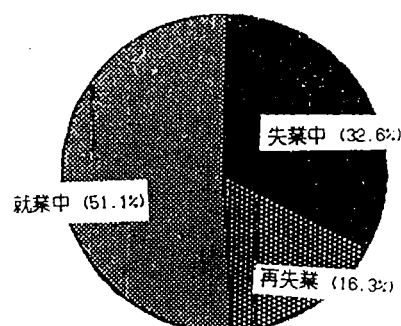
阪神大震災から三年目に入つた被災地では、今、日本労働運動でもこれまでになかつた形の闘いをつくり出そうとしている。国鉄闘争を切っ先にして労働者の闘いを組織し、被災地労働者とともに労働運動の荒々しい復活をかちとろう。

労働者のための予算と巨大プロジェクト

兵庫県離職者生活安定資金	1.0億円
シルバー人材センター	1.5億円
兵庫県生活安定資金	36.0億円
生活再建支援金	380.0億円
各種雇用奨励金	120.0億円
雇用維持奨励金	74.0億円
小計	612.5億円
巨大プロジェクトへの投資額	110,000.0億円
比率	0.56%

なんと大企業には十一兆 労働者にはスズメの涙！

全体失業・就業状態



二〇〇〇年度内完成阻止！ 三里塚芝山連合空港反対同盟旗開き

一月十二日、一〇時より、成田市・岩山記念館において、三里塚芝山連合空港反対同盟の「九七年新年団結旗開き」が開催され、昨年末に運輸省が発表された「二〇〇〇年度内平行滑走路完成」阻止の闘争宣言を発した。

基調報告で北原事務局長は、「三〇年間すばらしい闘いをやってきた。日本の政治を変えるための闘いとして三里塚闘争があることを感じている。二〇〇〇年度内完成粉砕が、三里塚闘争勝利の道だ。三・三〇現地集会に結果を」と報告し、敷地内の市東さんも、「九七年は、三里塚闘争の神髄を発揮する年だ。最後の勝利まではばたこう」と闘志満々にあいさつするなど、新

たな闘いへの勝利感に満ちた旗開きとなつた。

動労千葉からは中野委員長があいさつを行い、三〇年間培ってきた労働連帯をさらに強固にし、ともに闘うことを明らかにした。

「二〇〇〇年度内完成」の一方的発表は、六六年七月の空港設置閣議決定、八六年の「九〇年二期概成」に続く史上三度目の反対同盟農民に対する宣戦布告であり、絶対に阻止しなければならぬ。

「二〇〇〇年度内完成」粉砕へ向け、三・三〇現地集会に結集しよう！

一月一七日付、日刊四五三〇号について、「四五三一号」に訂正します。